

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	飯田 佐恵
------	-------

主な担当科目	インターンシップ,音楽教育メソッドⅠ,音楽教育メソッドⅡ,音楽教育メソッド実践Ⅰ,基本ソルフェージュ②,鍵盤演奏表現Ⅰ,総合ソルフェージュ①,卒業論文,音楽教育メソッド実践Ⅰ,実技個人レッスン[ピアノ①,ピアノ②,ピアノ③,ピアノ④,ピアノ実技Ⅰ④,ピアノⅠ①,ピアノⅠ②ピアノⅠ④,音楽芸術表現実技(ピアノ)①]
シラバス	<a href="#">ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。)</a> ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック

2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	行動制限がなくなる中、感染対策には引き続き気をつけながら、アンサンブルや視唱、グループワークを積極的に実践したい。iPadの利用を促進し、ICT活用についてさらに工夫を重ねたい。留学生や要配慮の学生など、多様な学生に有意義な学修機会を提供できるよう心がけたい。
2023年の教育に関する自己評価	授業での連弾(「インターンシップ」「音楽教育メソッド」)視唱(ソルフェージュ科目)のほか、グループワークを各授業で増やした。一方で要配慮の学生の参加に配慮している。Teamsでの課題提示・提出の推進、資料配付を促進し、授業内でも教育効果を実感している。メディア授業である「卒業論文」電子教科書使用の「総合ソルフェージュ①」以外でも、将来のICT環境への対応を想定した授業を展開している。留学生や要配慮学生には平易な言葉遣いを心がけ、欠席がちな学生にも丁寧に対応している。

2023年のFD活動に関する自己評価	FD全体研修会のほか、関係する学内組織のFD研修会に全て出席し、積極的に発言できた。9月のFD分科会ではファシリテーター(書記)も務めた。
授業改善のために取り入れた研修内容	9月のFD全体研修会で多様性に関するお話があった。根本的な考え方や言動に影響するものであり、その後の授業にも影響した。音楽教養の学内組織のFDでは卒業研究について具体的な情報を得て、実技レッスン等に活かしている。

## 2023 年度(前期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:0673 教員名:飯田 佐恵

### 1)アンケート結果に対する所見

総合的満足度を中心に、概ね良い評価をいただき、有り難く存じる。  
どの授業においても Q8「自分はこの授業の予習・復習をしている」において評価が低めだった。自己評価において厳しいと言える。「音楽教育メソッドⅠ」「電子楽器研究」は授業内での実践が多いため、自宅での予習・復習に結びつきにくい面もあったかもしれない。しかし例えば「音楽教育メソッドⅠ」では次の授業で使用する手作り楽器を各自が工夫を凝らして製作したり、「電子楽器研究」では先生と共演する曲の下見をしたりと、必要な課題に取り組んでいた。またどちらの授業も即座に結果を出す性質の内容ではなく、将来に役立つ知識や経験を得ることを目的としているので、これから折に触れて授業の内容を思い出して生かしていただけたらと思っている。

「ピアノ教養特論Ⅰ」は総合的満足度 100%だが、履修者数 37 人中 5 名と、回答率が低いのが気になる。

### 2)要望への対応・改善方策

特に要望はなく、自由記述は授業に対する良い評価になっている。「音楽教育メソッドⅠ」「電子楽器研究」「ピアノ教養特論Ⅰ」はどれも、専門分野の先生方をお招きして講義・実践を行う授業で、高い評価をいただいたのは先生方の熱意と高い専門性に裏付けされた内容の賜物である。ご担当いただいた先生方に心から感謝申し上げます。

各項目で「4 そう思う」の回答が増えるよう、予習・復習を促したり、コミュニケーションに努めたりして、満足度の向上に努めたい。

### 3)今後の課題

オムニバス授業は特別講師や外部講師にご担当いただく場合もある。そうした中で授業アンケートの回答率を上げるために、専任教員が中心となって働きかけることが大切と考えている。

以上

## 2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:0673 教員名:飯田 佐恵

### 1)アンケート結果に対する所見

概ね良い評価を得て感謝している。「インターンシップ」の江口文子先生をはじめ、複数教員担当の科目で一緒にいただいた先生方に感謝申し上げます。

そうした中で「総合ソルフェージュ①A」で 1 名の学生が授業に対して満足していない(Q10で「2 あまり思わない」)状況が気になる。Q6「学修成果を得るための工夫」でも「2 あまり思わない」に 1 名の回答があり、同じ学生かどうかはわからないが、さらなる工夫を心がけたい。この授業では 2015 年度に「ICT を活用した授業」として電子教科書をいち早く取り入れたが、iPad を全員が所持する現在、より一層の工夫が求められているようにも感じられる。

一方で、ICT を特に活用しない授業において満足度が高いこともある。根本を大切に授業に臨みたい。

### 2)要望への対応・改善方策

特に要望はなかったが、自由記述からは「親切」「細かく見ていただく」という具体的な言葉での評価があった。「親切に」「丁寧に」をこれからさらに心がけたい。

また「基本ソルフェージュ②A」で、「1 限だが頑張れた」という内容の記述があった。授業は学生たちの努力があって成り立っているということを心に留めて、これからも臨みたい。

### 3)今後の課題

授業アンケート回答率の低い授業がある。授業内で回答時間を設け、実技科目でも回答を呼びかけたが、欠席者にも回答してもらえるように、さらなる呼びかけが必要と思う。実技科目の回答期間は特に工夫が必要と考えたい。

以上